

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

# わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより平成29年11月10日発行

## 1 1月の主な行事予定

11月10日(金)

「平成29年度鳥取県コミュニティ・スクール推進研修会」兼「平成29年度第2回学校支援ボランティア研修会」(上井公民館)

11月18(土)、19日(日)

「第15回鳥取県総合芸術文化祭(2017 とりアート)」(倉吉未来中心)

## 中国・四国地区公民館研究集会高知大会



10月19日(木)、20日(金)に高知県高知市で中国・四国地区公民館研究集会が開催されました。「新たな絆を育む心ときめく公民館」というスローガンで、全国各地から公民館関係者が多数集まり、学びを深めました。

パネルディスカッション

テーマ「公民館への期待と可能性」

【コーディネーター】 内田純一さん(高知大学地域協働学部教授)

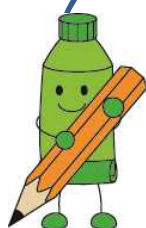
【パネリスト】

- 若松進一さん(人間牧場主・年輪塾塾長)
- 武智 龍さん(虹色の里横畠 前事務局長)
- 山下かのうさん(ぷらうらんど Kouminkan 総合施設長)

**若松さん** まちづくりに「沈む夕日」をテーマとした。厳しい意見をもらいながらも、6つの道具「仲間」「主張」「ふるさと」「感動」「夢」「学ぶ心」を仕事のモットーとし、事業を手がけた。公民館事業では、人材育成が求められているが、継続する事が大切である。

**武智さん** 体験観光として横畠の特産物の芋を栽培から加工まで体験させ、人と人とのつながりを大切にしている。青少年育成としては若者の活動グループを活発化させようと、虹色の里横畠のイベントで売店を若者に任せた。

**山下さん** 療育と社会教育は融合しないが、療育に自然体験活動を組み合わせ、家庭教育支援を行っている。ぷらうらんど体験活動で出来たことが、家庭や社会で役に立つことを実感させたい。目指すは、子どもたちの自立である。



公民館関係者が、地域づくりの主体として、**様々な関係者と積極的に繋がること**で地域の課題解決に向けた取組を一層進めることとなります。

### 湯梨浜町「大介」の事例発表がありました！

大会2日目の分科会「家庭教育支援」での発表でした。「大介」の取組事例から、公民館としての関わり方や今後の取組について、熱心に協議がなされました。



「大介」代表 三ツ田達彦さん

# 2017 とりアート 中部地区事業

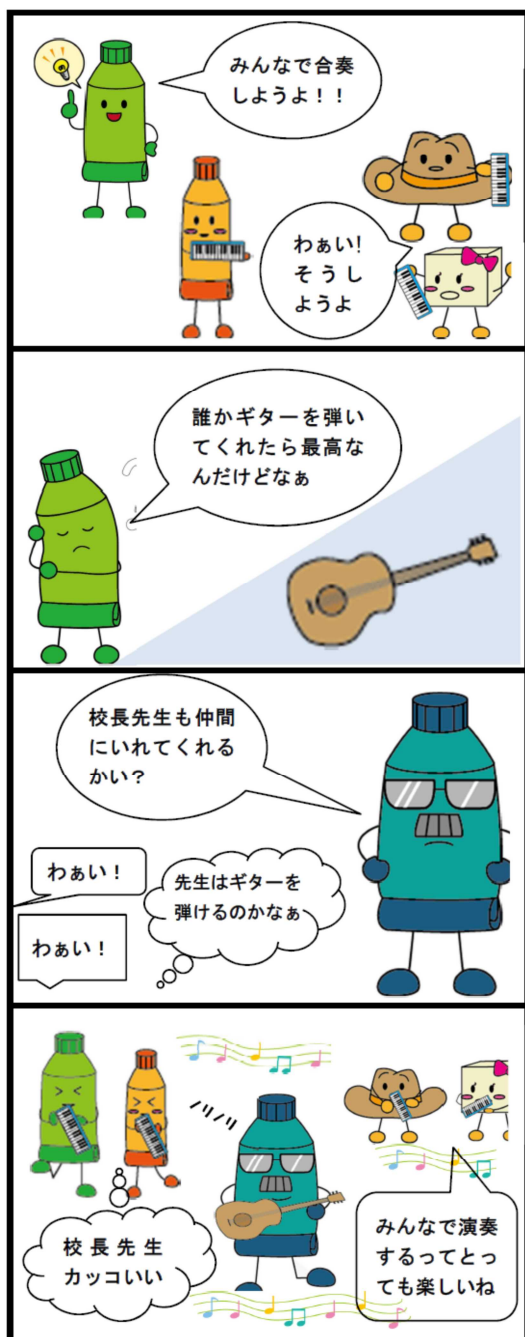
中部地区の文化・芸術面で活動している方たちが、ワークショップやステージイベントを通して、文化芸術の楽しさを県民に知ってもらうためのイベントを開催されます。

- ・日 時 平成29年11月18日(土)、19日(日)  
午前11時より
- ・場 所 倉吉未来中心
- ・内 容 園児・小学生の絵画コンクールの展示、音楽やダンス、中学生のステップアートなど
- ・その他 入場無料 ※一部有料イベントあり
- ・問い合わせ先 鳥取県総合芸術文化祭中部地区企画運営委員会  
☎0858-23-5391



## ちゅうぶくん

～ 芸術の秋を楽しもう ～



## くらよし国際交流 フェスティバル2017

ジャマイカミニコンサートや韓紙を使ったマグネット作り、世界の食べ物(有料)など国際色豊かなフェスティバルです。

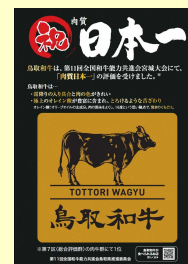
- ・日 時 平成29年11月26日(日)  
午前11時から午後3時まで
- ・場 所 伯耆しあわせの郷
- ・内 容 ミニコンサート、太極拳、写真展示、竹細工の製作、各国の料理(有料)など
- ・その他 入場無料
- ・問い合わせ先 公益財団法人 鳥取県国際交流財団  
☎0858-23-5931

### 【あとがき】

先日、新聞記事に「県内移住 右肩上がり」との見出しで県内移住者が上半期としては過去最多とありました。移住希望者向けの相談体制や移住体験ツアーなどの取組が奏功したようです。

ちなみに私の名刺には、鳥取和牛の霜降り肉が大きく載っています。県外の方にお渡しすると肉だけに「食いつき」が良く、鳥取に興味を持たれます。私も移住者増に貢献しているかも…。

○取県、△△王国など、いろいろPRしてるね!



中部教育局 社会教育担当 西村信彦  
電話 0858-23-3253  
FAX 0858-23-5203  
E-mail [nishimuran@pref.tottori.lg.jp](mailto:nishimuran@pref.tottori.lg.jp)

